



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30 会長 南賀勝之
幹事 濱田由弘 会報委員長 岩永建保

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2247

2015-10-2

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

Rotary  Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン

本日の例会 10月2日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
光信(10) 西村(10) 岡倉(20)
岡本(10) 山口(660) 山本(10)
大原(20) 村上(泰)(10) 濱田(20)
三宅(20) 浅井(10)

各会員

- お祝・誕生日
中谷(佳) 佐伯 境 杉原 山本

各会員

- ・結婚記念日
平瀬 今岡 小林 岡倉 境 杉原
山口

各会員

- ・入会記念日
今岡 内藤 西谷 西澤 山下

各会員

- ・会社創立記念日
池宮 永井 上 畑田

各会員

- 卓話 「東成ATC戦略(ひがしなりアタック戦略)」
東成区を安全で安心して住めるまちとする
ために住所・事業所・区役所等と警察
署が協働しての地域安全活動の取組につ
いて。

大阪府東成警察署
地域課長 警部 大谷宏和氏
(今井賢二郎社会奉仕委員長担当)

- クラブフォーラム(社会奉仕委員会)
例会終了後引続き～15:30
シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

次週のお知らせ 10月9日(第2例会)

- 卓話 「ゴルフエクササイズ」
アドバンス開発(株) 代表取締役 大東将啓氏
(山口 寛会員担当)

- 理事会 11:30～12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

- 食膳 〈中国 円卓料理〉

次々週のお知らせ 10月16日(第3例会)

- 卓話 「私達の持っている驚異の復元力」
京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻
生物物理教室 ゲノム情報分野教授 森 和俊氏
(プログラム委員会担当)

先週のお記録 9月25日(第4例会)

- 出席報告
出席会員 43名 (内免除会員 12名)
会員総数 49名 (同上 15名)
ゲスト 1名
ビジター 2名
計 46名
ホームクラブ出席率 93.48%

9月11日(第2例会)補正出席率 97.67%(MU 1名)

- ゲスト&ビジター (敬称略)

立野 純三(ガバナー)
小野 徹弥(大阪東)
佐々木恭一(大阪東)

◆ 会長挨拶 ◆



大阪東南ロータリークラブ
下宮義弘会長
城南ロータリーの皆さま、い
つもなにかとお世話になっ
ております。本日もよろしくお願
いします。東南ロータリーのみ
なさんご苦労様です。今回、特

に今までにない試みで合同例会とガバナー訪問と
の重要行事が二つ重なり、城南ロータリーさんのご
担当の皆さまにはさぞかし大変であったかと拝察、

10月は経済と地域社会の発展月間／米山月間です!!

感謝いたしております。

さて、先ほど立野ガバナーさんのガバナー面談が岡部パスト・ガバナーさんご臨席のもと、両クラブの委員会メンバーとの間にありました。

会員増強は特に私たちの今年度の悲願であり、杉浦前々会長を委員長に橋本直前会長を副委員長とし、委員にも特別強力会員を集め増強に努めたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



大阪城南ロータリークラブ
南賀勝之会長
今年度は、立野純三ガバナーの公式訪問を、子クラブである大阪東南ロータリークラブとの合同例会日にお受けします。
K.R. ラビンドラン(スリランカ・

コロombo RC)会長の「世界へのプレゼントになろう」のテーマのもと、『変革を！ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！』を地区方針に掲げておられます。

我々のクラブにおいても、クラブの主体性を重んじつつ、近年のロータリーの傾向を十分に把握しながら、運営をしております。本日は、宜しくお願い致します。

卓 話

9月25日 <第4例会>

「大阪城南 RC 大阪東南 RC 合同例会 公式訪問講話」



RI 第2660地区ガバナー
立野純三様

皆さんこんにちは。

2660地区2015～16年度ガバナーを仰せつかっております立野です。よろしくお願ひします。まず

もって、今回は合同例会を開催していただき有難うございます。大阪城南ロータリークラブ・大阪東南ロータリークラブは、長年にわたり地区に対して事業運営に貢献していただき感謝しております。本年は大阪城南ロータリーより、岡部パスト・ガバナーは第3ゾーン研修リーダー、境さんがガバナー補佐、岡部(倫)さんが米山奨学委員会。大阪東南ロータリーより、田中さんがガバナー補佐エレクト、松井さんがロータリー財団委員会、それぞれ出向をしていただき活躍いただいております。有難うございます。

まず、最初にこの1月にアメリカ・サンディエゴ

で開催されました国際協議会初日の晩餐会で、ラビンドランRI会長が熱い思いで話された本年度RI会長テーマを5分程度にまとめました映像をご覧ください、その後、私が本年度方針の中で7つの重点項目を掲げておりますが、その中からご参考になればと思う項目をお話させていただきます。最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のPRビデオをご覧ください。

ただ今、ラビンドランRI会長の本年度テーマをお聞きいただきましたが、どのように思われましたか。私は、お話を聞きした時は、本当に感動しました。

本年度のRIテーマは『世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world』、2660地区の方針は『変革を！ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！』です。大阪城南ロータリー南賀会長は、本年度のクラブ運営方針をRIテーマ並びに地区方針に則り、「温故知新を旨にクラブ50周年に向けて、見直しをさらに推進すること」とされています。そして「魅力ある例会の運営」「会員増強」「クラブ戦略委員会の創立」「クラブ内各方面の改革」の4つの重点項目を掲げておられます。

大阪東南ロータリー下宮会長は、本年度のキーワードを「最高の奉仕、最高の友人、最高の時間 東南ロータリー」とされておられます。『みんなでクラブを変え、未来あふれるクラブにしてロータリーライフを楽しみましょう』と仰っておられます。

大阪城南ロータリー、大阪東南ロータリー、両クラブのそれぞれの委員会は、既に一年間の計画を立て動いておられます。それに対して私がとやかく言うべきでもありませんし、またロータリーの主体はあくまでクラブです。各クラブが自主的にクラブを運営され、いかに会員の皆さんがクラブライフを楽しむかが大切だと思っております。ただ本日はガバナーとして訪問をさせていただいておりますし、何も申し上げずに帰る訳にも参りませんので、本日は私が本年度7つの重要項目として掲げております中から、「戦略計画委員会」「会員増強」「ロータリー財団」「人材育成」「ITの活用」についてお話をさせていただき、本年度の委員会活動に少しでも参考にさせていただければ有り難いと思っております。

本年、私は地区方針の中で具体的項目を7つ掲げていますが、その中の一つとして戦略計画委員会を各クラブにぜひ本年度中に立ち上げていただきたいとお願いしています。ここで、少し戦略計画委員会に対する私の考えをお話させていただきますが、あくまでも参考というかたちでお聞きいただければ結構です。

まず、皆さんが社員として入社を希望する会社、入社を目指した会社を思い出していただきたいと思ひます。新入社員として入りたくなる会社とは、私なりに考えますと「会社に魅力がある」「堅実に成長している」「業界で光っているオンリーワンである」「仕事が楽しそう」「そして給料がいい」等、様々

な理由があると思います。今、私達のロータリークラブは、他のボランティア団体よりも会員を引き付けるだけの大きな魅力があるでしょうか。そこで、各クラブに戦略計画委員会を立ち上げていただき、魅力があり、活力があふれ会員が楽しくクラブライフを過ごせるクラブにする為に、具体的にどのような計画を立て、一年一年確実に実行していくかを中長期ベースで考えていただきたいと思っています。ロータリーは単年度制です。毎年、RI会長テーマ、地区ガバナー方針、クラブ方針がその年ごとに変わり継続性はありません。もちろん単年度制にも、その年の会長が特徴を出せるいいところがありますが、単年度ではなかなか結果を出すことが出来ない重要なテーマがあると思います。重要なテーマは各クラブによって違うでしょう。年ごとに達成度をチェックし、目標としているテーマを達成することによって、内部からみても楽しく活力があり、外部からみても魅力のある素晴らしいクラブにしていく必要があると思います。両クラブ会長は、会員増強に力を入れ、活性化した魅力ある例会にしたいと考えておられます。私は、入会を促進する取り組みにおいて重要となるのは、ロータリーのDNAを重要に考えることだと思います。DNAは決して変わらないロータリーに対する価値観、優先事項(出席率、財団寄付等)奉仕への献身を絶対に忘れないことだと思います。また、ポール・ハリスが創立したロータリーの設立の目的を大切にすることでもあります。時代に即する為に妥協して、大切なロータリーのDNAをあっさりとして捨ててしまうと組織は長続きしません。変えてはならないところを変えてしまい、信じる土台がなくなれば組織の存在価値はなくなります。しかし、一方で時代の変化と共に、変えなければならないところもあると思います。イギリスの自然科学者チャールズ・ダーウィンはかつて『生き残るのは強者でも賢者でもなく、最も変化に適應できる者だ』と述べています。これは生き物だけでなく、組織にも当てはまります。変化や革新は年齢に関係なくフレッシュな視点をもった人から生まれるものであり、こうした人こそクラブにとって最も貴重な資産だと思います。あるロータリーの小冊子に書かれていた文章ですが、『ロータリーの目的は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成することにある。ロータリークラブは実業家及び専門職業人のクラブです。仕事のない人は会員になれない建前です。どんな職業でも仕事でも、たいがい他人の役に立っています。他人の役に立たないようなものは有益な職業ではありません』と書かれていました。また、ラビンドランRI会長が先程のスピーチの中で言うておられましたが、『当組織を形づくった基礎に立ち返る方法を見つける必要がある。それは人生のあらゆる場での高い倫理基準、そして各クラブに会員の多様性をもたらす職業分類です。これらは会員増強の足を引っばる障害に

すぎないとみられています。しかし、これはロータリーの成功に欠かせない要素であり、なおざりにすれば自らの存在を危うくする』と言っています。ラビンドランRI会長の言葉、小冊子の文章は、会員増強、会員の維持、会員の質を考えておられる両クラブ会長にとって、参考になる文章ではないかと思っています。両ロータリーが内外からみて魅力があり、活力があり、楽しそうであれば、おのずと人は集まってくると思います。このようなクラブ作りの為にも戦略計画委員会の立ち上げ、中長期で重要テーマを検討して達成していただきたいと思っています。

次に、社会奉仕、国際奉仕についてお話をさせていただきます。すでに何度かお話をさせていただいておりますが、私の国際奉仕の原点を少しお話をさせていただきます。

私は大阪青年会議所時代に、国際婦人福祉連盟の有志の方々のご協力によって、1986年に設立をされました世界的NGO団体のセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの設立に携わり、18年間にわたりこの団体の理事長を務めさせていただきました。セーブ・ザ・チルドレンと申しまして、ご存じない方も多いと思いますので簡単に概略をご説明させていただきます。1914年、第一次世界大戦で両親や家を失ったヨーロッパの悲惨な状況にあった子供達をみかねたイギリスのエブランチン・ジョブ女史が、これらの恵まれない子供達を援助することを目的として始めた団体です。ヨーロッパやアメリカでは有名な団体で信頼をされています。今、世界で50ヶ国以上が加盟をして世界各地で活躍しています。なぜ私が18年間もこの団体のお手伝いが出来たのかと言いますと、最初にフィリピン・ギマラス島にお金の寄付をして村中の人と一緒に小学校を建設しました。その小学校の竣工式に出席をした時、村中の人達から熱烈な歓迎を受けたことや、何よりもその学校を使用する子供達が素晴らしい笑顔で迎えてくれたことなど、今迄経験したことのない感動を味わったことが、セーブ・ザ・チルドレンの活動を続けられた一番の要因でした。まさに「百聞は一見に如かず」、現地に行き実情を知ることが奉仕の原点だと思います。皆さんも、今迄ロータリー財団に多くの寄付をされていると思いますが、頂いたご寄付はすべてグローバル補助金・地区補助金等として、海外の医療関係の改善、子供達の栄養改善、教育環境の改善、震災復興への取組み等に活用されています。ぜひ、両ロータリーが取り組んでおられる社会奉仕や国際奉仕に一人でも多くの方が関心を持っていただき、活動していただきたいと思っています。きっと爽やかな感動を味わうことが出来ると思いますし、奉仕活動はクラブの活性化にはこの上ないミッションになることは間違いないと考えます。これらの奉仕活動のエネルギー、原資となるロータリー財団への寄付に、ご理解をいただきご協力をお願い致します。

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

次に、会員研修についてお話をさせていただきます。大阪ロータリーは、新入会員が入会する時に、情報委員会でロータリーに対する心構えやロータリーとは何かを一通り説明をしますが、その後は例会や奉仕の場で先輩ロータリアンが支援をしています。すなわちOJTでロータリーを学んでいきます。これは、うまい例えではないかもしれませんが、現在、日本で最も注目されているトップアスリートと言えば、テニスプレーヤーの錦織 圭選手だと思います。彼の急激な成長を促したのが、昨年からコーチ陣に加わったマイケル・チャンの力です。彼は錦織選手の元来の素質を開花させ、世界のトッププレーヤーの一員に引き上げた手腕は誰もが認める所です。マイケル・チャンの役目をする委員会が研修委員会や研修リーダーではないかと思えます。新しく入って来られた会員の方に、「鉄は熱いうちに打て」のことわざの通り、早い時期にクラブに慣れていただく為にも、ロータリーとは何か、ロータリーの魅力や楽しさを理解してもらうなどの研修を行われることは素晴らしいことだと思います。この点において何かお困りの事があるようでしたら、ぜひ地区研修委員会にご相談をいただければと思います。

最後に、もう一つのお願いがITです。RIは大きく変わり、ITを活用しなければなりません。RIに対する要望や申請などは、全てITを利用しなければなりません。マイ・ロータリーに自らが登録していただく必要があり、登録をしていただくウェブサイトで、自クラブの活動内容が確認出来たり、会員コーナーでは「元気なクラブ作りのために」や「会員増強ガイド」等、充実したクラブづくりに役立つさまざまなリソースをダウンロードできます。ロータリー・クラブ・セントラルやその他オンライン・ツールを利用して、RIの内容やロータリーの動きが理解でき、きっとロータリー活動が楽しくなると思います。私もそうですが、皆さんの中にもITを扱うのが苦手な方もおられると思いますが、ぜひトライしてください。この7月1日から、ロータリーメンバーには新しい会員プログラム「ロータリー・グローバル・リワード」が始まりました。パソコン・スマートフォン・タブレット端末から利用できる新しいプログラムです。このプログラムを利用すれば、世界各地でレンタカー、ホテル、レストラン等の割引を受けることが出来ます。ただし、割引を利用できるのは、繰り返しますがマイ・ロータリーに登録した会員のみとなりますので、ぜひ登録をして活用してください。もしわからないことがあれば、地区広報委員会に問い合わせをいただければ、ご説明をさせていただきます。

それでは最後に、12月4日・5日に開催されます2660地区 地区大会のPRビデオをご覧ください。今回は従来の地区大会と違って、少し変則的な開催となります。一日目は、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会から始まり、晩餐会はリーガロイヤルホテルの宮川シェフが大阪産の旬の食材を使いおもてなしをさせていただきます。エンターテイメントとして、日本が誇る「関西二期会」によるウィンナオペレッタ・喜歌劇「こうもり」をお楽しみいただきます。二日目は、11時から世界的に活躍する若きアーティストのヴァイオリニスト庄司 紗矢香さんとピアニスト小菅 優さんの「夢のデュオ・コンサート」が開催されます。ぜひロータリアンの皆さんをはじめ、お子さん、お孫さん、ローターアクト、インターアクト、ご友人の方々、多くの方に素晴らしい演奏をお聴きいただきたいと思っております。メインの特別シンポジウムは“究極の職業奉仕”「関西発のイノベーションー最先端研究から創薬へ」のタイトルで、大阪大学・岸本名誉教授、京都大学・本庶名誉教授、お二人による基調講演を開催致します。どうか、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後に、大阪城南ロータリークラブと大阪東南ロータリークラブの益々のご繁栄を祈念しまして、公式訪問を終わらせていただきます。有難うございました。

にここ箱

9月25日(第4例会)

- 立野ガバナー、ありがとうございました。
城南RCの皆様、お世話になります。
大阪東南RC一同様
- 次期会長エレクトの松田です。
本日はよろしくお願ひ致します。
大阪東南RC 松田清司様
- 立野ガバナー、本日は宜しくお願ひ致します。
南賀会員
- 立野ガバナー、ようこそ我がクラブへ。
岡部(泰)会員
- 立野ガバナー、ようこそお越し下さいました。
境会員
- 会報誤植、失礼いたしました。
岩永会員

9月にここ合計 192,000円

(編集担当 武田・浅井)

会員増強にご協力を!!